



北御牧と祢津の『のろし交信』

4月12日(土)に祢津の城山と北御牧の外山城(城峰)との間で、のろし(狼煙)の交信が行われました。これは祢津で開催された『さくら祭り』のイベントの一環として行われたもので、まず外山城から杉枝を燃やして白い煙を上げ、それに呼応して城山でも煙を上げる・・・というものでした。

当日の10時30分には、まず八重原台地突端の外山城から煙を上げ、祢津からは白く壮観に見ることができたそうです。上小森林組合の協力でドローンによる空中撮影と、下八重原こども育成会・郷づくり協議会の協力で甘酒が振る舞われました。



今年もやります 第4回 御牧原ぜっけいマルシェ

御牧原名物の「もろこし」(朝採れ)や白土馬鈴薯をはじめ、キッチンカーやクラフト、ミニライブ、こどもブースなど約40店もの出店で、毎回大賑わいのマルシェです。多くの地元の方々のお越しをお待ちしております。

日時 7月27日(日)9:30~15:00
場所 岩井屋御牧原(旧御牧原保育園)
主催 おいでなんし御牧原の会
後援 東御市、東御市教育委員会



北御牧支所 新任職員



小山哲生さん



柳澤嘉和さん

編集後記

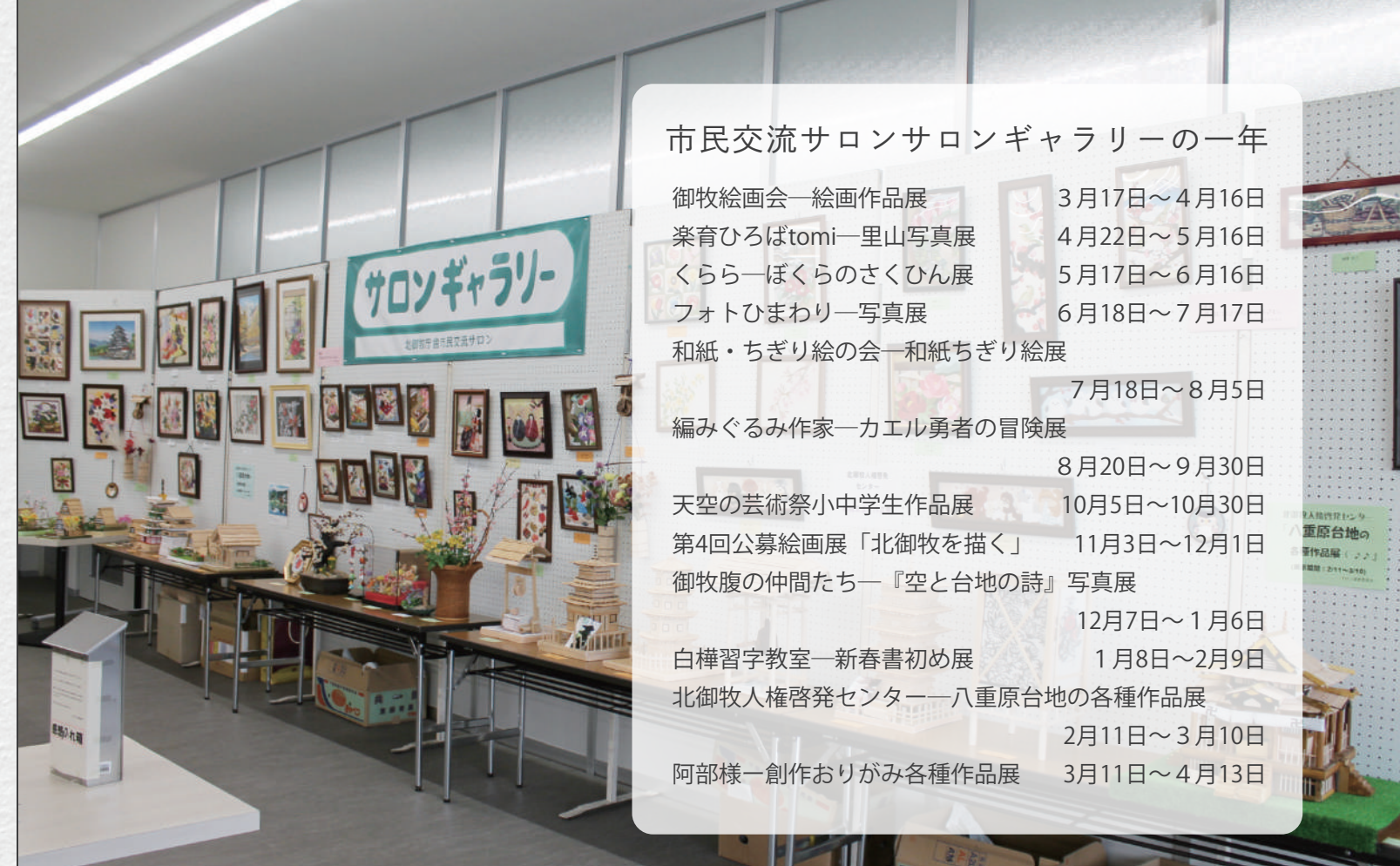
近頃は日中は暑からず春の気配も残っており、新緑がちらほら見える時期となりました。広報部では、どんな内容の紙面しようかと毎回、題材や案件を持ち寄り記事や構成などを考え編集を行っています。今回の内容はいかがでしょうか?楽しんで頂けたら幸いです。最後に、「御牧の郷だより45号」を発行するに当たり快く原稿の執筆や、ご協力していただ皆様には心より感謝申し上げます。

編集部 関 和貴

北御牧の人の動き

総人口	4,419人(−7人)	転入15人	出生0人
男	2,187人(−2人)	転出18人	死亡13人
女	2,232人(−5人)		

()内は、2月末との対比(令和7年3月末現在)



市民交流サロンサロンギャラリーの一年

御牧絵画会—絵画作品展	3月17日~4月16日
楽育ひろばtomi—里山写真展	4月22日~5月16日
くらら—ぼくらのさくひん展	5月17日~6月16日
フォトひまわり—写真展	6月18日~7月17日
和紙・ちぎり絵の会—和紙ちぎり絵展	7月18日~8月5日
編みぐるみ作家—カエル勇者の冒険展	8月20日~9月30日
天空の芸術祭小中学生作品展	10月5日~10月30日
第4回公募絵画展「北御牧を描く」	11月3日~12月1日
御牧腹の仲間たち—『空と台地の詩』写真展	12月7日~1月6日
白樺習字教室—新春書初め展	1月8日~2月9日
北御牧人権啓発センター—八重原台地の各種作品展	2月11日~3月10日
阿部様—創作おりがみ各種作品展	3月11日~4月13日

御牧の郷だより

MIMAKI NO SATO DAYORI

No. 45



リサイクルコーナー

不要となった衣類などのリサイクルコーナーでは必要な方が再利用するSDGsの好循環が生まれ、提供いただいたご厚意の浄財は、毎年いろいろな団体に寄付されています。

壁面展示

四季をテーマに児童館・老人保健施設利用者等の作品を展示





花の遊牧民・養蜂家村上亜紀子さんの Beehive 八重原芸術むらで カフェも人気

「蜂蜜は人類の歴史とともに」と言われたほど古い歴史のある食品。スペインのアラニア洞窟には今から八千年前とされる「蜂蜜を採る女性の姿」が描かれています。世界最古のお酒・Mead(ミイド)は蜂の巣に雨水が溜まり自然発酵してできたお酒です。ハネムーンとは新婚時代の一ヶ月を滋養豊かな蜂蜜酒 Mead を飲んで過ごし、ミツバチの多産にあやかる意味があるとされています。

八重原・芸術むらで Beehive(ビーハイブ)を営む養蜂家村上康裕さんと亜紀子さん。花の季節に合わせ、地元東御市はもとより伊豆、北海道をミツバチと巡って蜂蜜を採取する「花の遊牧民」です。

五月になると北御牧では真っ白な花が見事なアカシアが咲き誇ります。天ぷらにしてもおいしいですね。そのアカシアからミツバチが集めてきた蜂蜜はあっさりとした味と香りで、どんな食材にも合わせ使えます。移動先の伊豆で採れる蜂蜜は山桜のふくよかな良い香りに、みかんの花からは爽やかなみかんの香りが楽しめます。北海道に渡るとクローバーの濃厚な味となり、ハーブのような菩提樹からの蜜が生まれます。花の違いでさまざまな味と香りの蜂蜜となるのです。

蜂蜜を愛用して「風邪をひかなくなった」「良く眠れる」という声も聞かれます。抗菌作用があり、免疫力を高める効果もあるようです。

村上さんは二十年前にこちらに移住され、昨年秋からは

Beefive cafe を、パティシエで和菓子づくりも得意な妹の由紀子さんと始めました。「花の遊牧民」であるため、不定期ながら土日月の営業で、ランチは人気です。

ログハウスのカフェには東御、伊豆、大島、北海道など各地で採取した蜂蜜が並べられ、また一隅には「ミツバチ文庫」が設けられていて「みつばちマーヤの冒険」など、蜂蜜に関する童話絵本や書籍、写真集などが楽しめます。

問い合わせ：

Beehive(ビーハイブ) 八重原 3533-1212
(芸術むら公園 コテージ奥) 電話：0268-75-1407



妹の由紀子さん(左)と村上亜紀子さん

ケアポートみまき 開所 30 周年

ケアポートみまき 開所 30 周年にあたり

1995 年(平成 7 年)4 月、旧北御牧村 5,500 人の地域住民の熱い思いと、先見性のある理事者をはじめ、諸先輩皆様の英断により、社会福祉法人みまき福祉会がケアポートみまきを開所し 30 年を迎えました。今日まで地域の多くの皆様からのご支援、ご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

ケアポートみまきの最大の特長である『全室個室型特養』は、国の先駆けとなるモデル事業でありました。また、併設する温泉アクティブセンターは、水中での健康増進に極めて重要な役割を果たし、幼児から児童、成人、高齢者、そして障がい者の皆様に愛されています。更には、ケアポートの中心に構える東御市立みまき温泉診療所は、歴代の診療所長の地域医療に対する熱心な取り組みにより、住み慣れた地域で暮らし続けられる「核」となっています。また、ケアポート開所 4 年後には「身体教育医学研究所」が誕生し、体を育み、こころを育み、絆を育むための実践活動と調査研究を行い、教育や啓発、情報発信をしています。

これからも、子どもからお年寄り、障がい者、誰もが幸せに思う「共生型社会の実現に向けた地域モデル」をケアポートみまきから発信していきたいと思ひます。

今後とも、宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

社会福祉法人みまき福祉会 理事長 翠川 昌博

北御牧地区 冬季スポーツ大会が開催されました



令和 7 年大会結果表

種 目	優 勝	準優勝	第 3 位	
ポッチャ	宮	大日向	本下之城	上八重原 A
卓球団体	本下之城	中八重原	芸術むら	—
ストラックアウト	上八重原 B	本下之城	中八重原	御牧原北部 A
ゲートボール	御牧原南部	宮	本下之城	—